

# 検知式発光横断支援装置「トライライトポスト」 による夜間事故防止対策の実証実験

## 取り組む背景

- 信号機のない横断歩道において、横断者がいても一時停止しない通行車両が後を絶たない。
- 薄暮や夜間に事故の発生率が上がる傾向にあるが、信号機の設置は費用面や諸条件が課題となる。
- 特徴的な3種類の光で横断者の存在を知らせる「トライライトポスト」を開発し、安全に横断できる環境づくりに繋げる。

## 事業内容

1. 君津市内の信号機のない横断歩道に「トライライトポスト」を設置する。
2. 装置の動作する薄暮から夜間にかけてカメラで横断者や通行車の動きを記録・測定する。
3. 設置前後のデータを比較し、トライライトポストの効果を検証する。

## 期待される効果

- ✓ トライライトポストの設置により、信号機がなくとも横断しやすい歩行環境を提供する。
- ✓ ドライバーだけでなく地域住民全体が交通安全について考えるきっかけを作ること、事故の減少や安全なまちづくりに寄与する。



◆ 日が落ちる時間帯に作動し、横断者が近づくと、下記3種類の光で横断を支援する。

1. 50m先から視認できる赤色の点滅光によりドライバーの目線を引き付ける。
2. 横断者を照らして、ドライバーに横断者の存在を知らせる。
3. トライライトポスト自体が発光し、更なる目線引付と存在をアピールする。

